



すずらん

たのもしく ただしく たくましく

天理市立福住小学校

第6号 令和元年10月8日

文責 神元 聡

子どもたちが主体的に取り組んだ体育祭

来年度から、学習指導要領が新しくなります。現行では、各教科の目標や内容において「教師が何を教えるか」について書かれている構成でしたが、来年からは子どもたちが「何ができるようになるか」に重点を置いた新しい教育が始まります。

今回の体育祭のダンス活動は、「教師がダンスを教え込む」という形をやめ、子どもたちが「自分の中にある知識・技能を、問題解決に生かせるようになる」ことを目標に行いました。「チームの誰一人見捨てることなく、みんながダンスをできるようになるには、どう説明したらいいのか」を、子どもたちがお互い対話し、自らの力で解決していきました。ダンスをきれいに踊って、観客を喜ばせることが目的であれば、演出家呼んできて猛特訓して教え込めば、うまくいきます。しかし、ダンス技能の習得が最終目標ではなく、その先にある「どんな力をつけるか」が大切です。今後の知識を習得する学習においても、子どもたちが「何ができるようになるか」そのために「どのように教えるか」について、スタッフ一同研鑽していきたいと考えています。

ホームページでも掲げましたが、福住校区体育祭は、「福住の絆」がリアルに感じとれる他の地域にはない大会です。こども園・小学校・中学校が協力して一緒に競技することはもちろん、区長会・消防団をはじめとする福住校区のたくさんの方々が、運営から参加まで深く携わることで成り立っています。「こども園と中学生が共に助け合う競技」、「小中合同の全校リレー」、「消防団VS地域の人たちの綱引き」、そして、「みんなで踊ったジェンカ」。またひとつ、「福住の絆」が強く結ばれた体育祭でした。

～体育祭名場面集～



修学旅行に向けて

六年生の子どもたちは、十日・十一日の修学旅行に向けて事前学習に取り組んでいます。全校児童に呼びかけて心を込めて折った千羽鶴は、平和公園に献納するため持参します。なお、一日目の活動の様子は、十日夜、HPにアップする予定です。また、六年生の保護者には、随時メール配信いたします。